

癌化学療法輸液約束処方 非ホジキンリンパ腫

癌種 CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫(再発・難治)

レジメン名 NHL10 R-GCD(内服困難)

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	投与時間	1クール期間
デキサート	デキサメサゾン	DEX	40 mg	div	DAY1-4	30分	21日間
ゲムシタビン	ゲムシタビン	GEM	1000 mg/m ²	div	DAY1, 8	30分	
カルボプラチン	カルボプラチン	CBDCA	AUC=5	div	DAY1	1時間	
リツキサン	リツキシマブ	R	375mg/m ²	div	DAY 8	下記参照	

【DAY 1】

- ① NS 50 ml + アロキシ 0.75 mg / 全開
- ② NS 50 ml + デキサート 40 mg / 30分
- ③ NS 100 ml + ゲムシタビン mg / 30分
- ④ 5%TZ 250 ml + カルボプラチン mg / 1時間
- ⑤ NS 50 ml / 全開

【DAY 2-4】

- ① NS 50 ml + デキサート 40 mg / 30分
- ② NS 50 ml / 全開

【DAY 8】

- ① NS 50ml + ポララミン 1A + ソルコーテフ 100mg
+ グラニセトロン 3 mg / 全開 ☆別々のシリンジで
- ② NS 500ml + リツキサン mg /
[初回] 50ml/hr から開始し、30分毎に 50ml ずつあげる
100ml/hr→150ml/hr→200ml/hr・・・最大 400ml/hr まで
[2回目以降] 100ml/hr から開始し、30分毎に 100ml ずつあげる
200ml/hr → 300ml/hr → 400ml/hr
- ③ NS 100 ml + ゲムシタビン mg / 30分
- ④ NS 50 ml / 全開

〈 調整方法 〉

リツキサンは 1mg/ml となるように生理食塩水(5%Tzも可)で希釈する。(10倍希釈)
輸液バックは緩やかに混和する。振とうにより泡立つと抗体凝集がおきる。

〈 備考 〉

- ① 投与速度は 初回は50ml/hr から開始し、30分毎に 50ml ずつ速度を上げる。最大 400ml/hr
- ② 2回目以降は 100ml/hr から開始し、30分毎に 100ml ずつ速度を上げる。最大 400ml/hr
- ③ infusion reaction に注意(投与速度とIR発現は相関する)。投与再開する場合は 投与速度を半分以下に下げる。
- ④ 化療前に HBsAg,HBcAb,HBcAb 原則確認。(抗体陽性症例は投与中、投与終了後もHBVDNAをモニタリング)
- ⑤ リツキサンはフィルター(0.2 μ mのインラインフィルター:テルモ)使用可能。